

27
西暦 2023 年 9 月 6 日

山形大学医学部附属病院にて診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、お問い合わせ先まで、ご連絡ください。

①研究課題名	SEMA3c (Semaphor in3C) 遺伝子一塩基多型と肺腎関連症候群の解明
②倫理審査委員会承認番号	〇〇〇〇〇〇 2023 - / 68
③研究期間	倫理審査委員会承認日から～西暦 2025 年 3 月 31 日
④研究の目的	<p>肺と腎の機能がともに悪化する「肺腎関連症候群」という病態があります。その中でも COPD (慢性閉塞性肺疾患) と CKD (慢性腎臓病) を合併する肺腎関連症候群は生命予後が不良となることが最近の研究でわかってきました。しかし、肺腎関連症候群がなぜ発症するのかは不明であり、有効な治療法も確立されていません。肺胞と尿細管に共通する物質である Semaphor in3C (SEMA3C) が肺腎関連症候群において重要な役割を担うと推測されています。</p> <p>そこで私たちはゲノム解析で得られた情報を使用し、Semaphor in3C 遺伝子一塩基多型が肺腎関連症候群と関係するのかどうかを明らかにしたいと考えています。</p> <p>この研究により Semaphor in3C 遺伝子一塩基多型が肺腎関連症候群と関係することが明らかになれば肺腎関連症候群の予防法・治療法・治療薬の開発に役立つと考えています。</p>

⑤この研究の対象となる方	2004 年から山形大学で行っている高畠コホート、山形コホートに参加し、かつゲノムワイド解析に同意した約 3000 例
⑥研究の方法	この研究では上記⑤の方を対象に、当時の検査データ、問診結果等を用いて統計解析（※）を実施します。 （※統計解析：大量のデータを収集、探索、分析し、その結果を提示することで、データに含まれるパターンや傾向を明らかにする科学）
⑥利用する情報	血液、検査データ、問診結果、死因 等
⑦他機関への臨床情報の提供	本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑧臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：鈴木奈都子
⑨臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：鈴木奈都子 主任研究者氏名：鈴木奈都子 分担研究者氏名：今田恒夫
⑩臨床情報の利用停止について	今回扱う血液データ等の情報と、それぞれの個人を照合できない形で加工された状態で研究者が情報を取得します。そのため研究者自身も個人を特定できず、臨床情報の利用停止を行うことはできません。 （個人を特定できない形で研究をすすめていくこととなります。）
⑪問い合わせ先	山形大学医学部公衆衛生学衛生学講座 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 TEL：023-628-5260 Fax：023-628-5261 E-mail：phealth@med.id.yamagata-u.ac.jp 担当者氏名：鈴木奈都子

以上